

- 病院機能評価（一般病院3）更新認定を取得しました
- 「病院情報システム」は日々の診療を支えるため進化し続けます
- 第13回「まごころ職員大賞」が決定
- 当院でのアレルギー疾患に対する取組
- 休憩ベンチを設置しました
- おもちゃの寄附をいただきました

## 病院機能評価（一般病院3） 更新認定を取得しました

病院長 松末 吉隆



当院は、令和元年7月12日付で、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価（一般病院3）の基準を達成していると認定されました。これにより、当該機構が実施する病院機能評価に関して平成16年（一般病院）の初回認定、平成21年（一般病院）及び平成26年（一般病院2）の更新認定に続き、4回目の認定となります。

今回は、特定機能病院・大学病院を対象に新設された「一般病院3」という評価区分を受審し、院内のガバナンス、医療安全、高度医療及び人材育成等を重視した、これまでよりも格段に高い基準による審査が実施されました。今回の受審を医療の質を更に向上させる好機ととらえ、病院の基本方針の見直し、診療マニュアルの総点検、患者さん向け案内の充実、患者満足度調査へのベンチマーク分析導入等の数々の改善に取り組んでまいりました。

評価結果では、ICUでの質の高い重症管理機能、多職種による専門チームの活動、医療機器に関する教育の徹底等の項目で最高ランクのS評価を受けました。特に、栄養サポートチーム、ハートケアサポートチーム、緩和ケアチーム等、多彩な専門チームによる高レベルの集学的医療の提供について、大変高い評価をいただきました。また、サーベイヤ（評価者）からは、「病院の改善に非常に真摯に取り組んでいることがよく伝わってきた。大変素晴らしい病院である。」とのコメントがありました。

今後も、当該認定にふさわしい病院として、当院の掲げる理念「信頼と満足を追求する『全人的医療』」のもと、さらなる医療の質の向上をめざして引き続き努力を続けてまいります。



更新の認定証



訪問審査に臨む当院スタッフ

※病院機能評価とは…我が国の医療機関の機能の充実・向上を図るために、公益財団法人日本医療機能評価機構が第三者機関として中立的な立場で医療機関の機能を評価するもので、令和元年7月12日現在で発表されている認定病院数は、全国8,389病院中2,178病院となっています。

# 「病院情報システム」は日々の診療を支えるため進化し続けます

医療情報部

## 病院情報システムとは？

病院情報システムとは、病院において日々の診療を支えるコンピュータと通信装置の総称です。昔は紙で管理されていたカルテ（診療録）や、心電図などの検査データ、そしてフィルムとして扱われていたレントゲン画像などの情報が、今は電子化（デジタル化）によってコンピュータで処理されています。



当院における病院情報システムの歴史は、1987年にさかのぼります。当初は、検査の予約やお薬の処方などを行うだけのオーダーリングシステムでしたが、2010年には電子カルテを中心とする病院情報システムに移行しました。2015年には第2期の電子カルテとなり、それを取り巻く医療機器が充実しました。そして現在は、2021年に予定している第3期の電子カルテへの移行に向けて、鋭意準備を進めているところです。

## 第3期電子カルテへの期待

日頃、外来や検査の待ち時間ではご不便をおかけしているところですが、次のシステム更新で、電子カルテの性能が上がることで待ち時間の短縮や、紹介状を通じた近隣の病院やクリニックと紹介状などを介する診療情報の共有も、よりスムーズとなることが期待されます。また、患者さんの大切な診療データをサイバー攻撃から守るため、さらに情報セキュリティを高める予定です。

病院情報システムは、巨大なコンピュータシステムで、病院のすみずみまで行き渡ったなくてはならないインフラです。ただ、何も大きなトラブルさえなければ、あまりその存在をお感じになることはないかもしれません。一度、外来や検査の待ち時間に、少し周りのコンピュータや医療機器をぐるっと見回していただき、縁の下の力持ち、病院情報システムの存在を少し思い出していただくと幸いです。



# 第13回「まごころ職員大賞」が決定

医療サービス課



## 「まごころ職員大賞」とは…

職員の患者サービス・接遇意識の向上を啓発することを目的に、患者さんやご家族の方々から「対応が良かった」等のご推薦をいただいた職員を表彰する制度です。



患者サービス向上委員会において、投票数331票の中から投票数1位が1名、同数2位が9名の計10名の職員にまごころ職員大賞が決定しました。2019年3月20日(水)に授賞式が行われ、田中副病院長から表彰状と記念品の贈呈があり、ねぎらいの言葉がかけられました。

これからも、心あたたまる医療の提供を目指し、接遇向上に向けた取り組みを実施してまいります。



4D病棟看護師	岩本 悠花さん
4C病棟看護師	松本 綾奈さん
4C病棟看護師	荻野 麻子さん
4C病棟看護師	河田 優子さん
4C病棟看護師	中川 友里さん
4D病棟看護師	田口 実乃里さん
4D病棟看護師	萬代 彩子さん
2C病棟看護師	小寺 加那子さん
3C病棟看護師	西尾 友里奈さん
5D病棟看護師	大橋 文香さん

# 当院でのアレルギー疾患に対する取組

クオリティマネジメント課

当院は、平成30年3月に「滋賀県アレルギー疾患医療拠点病院」の指定を受けました。アレルギー疾患医療拠点病院とは、アレルギー疾患に対する広範かつ専門的な診療体制を有していることを要件として、都道府県知事より指定を受けた病院です。

当院は、呼吸器内科、皮膚科、耳鼻咽喉科等を中心にアレルギー疾患に対して質の高い医療を目指すとともに、医療従事者の人材育成や調査・研究等を推進しています。

また、アレルギー疾患に関する情報を幅広く発信するため、新たに「アレルギー疾患情報サイト」を開設

しました。県民公開講座の情報や花粉の飛散状況等も掲載していますので、ぜひご覧ください。



アレルギー疾患情報サイト  
QRコードよりアクセスください!



県民公開講座のようす（滋賀アレルギーフォーラム）

## 休憩ベンチを設置しました

医療サービス課



7月10日(水)に病院玄関から病院駐車場までの間の歩道に、休憩ベンチを3脚設置しました。

これは、「駐車場までの間に、休憩できるベンチを設置して欲しい」という患者さんからのお声に応えたものです。

このベンチは、水を弾きやすく雨上がりでもすぐに乾き、見た目は木目調で優しい雰囲気になっており、重さ約150kgで安全性にも優れています。

もし、駐車場の往復途中でお疲れの時は、ぜひご利用ください。

ベンチが皆さまの憩いの場となれば幸いです。



## おもちゃの寄附をいただきました

小児科

6月28日(金)、アフラック生命保険株式会社様からの寄附贈呈式が行われ、当院の小児病棟へおもちゃを寄附いただきました。

今回、5県の病院への寄附があり、滋賀県では小児がん拠点病院及びがん診療連携拠点病院の中から、当院に寄附いただきました。

同社滋賀支社長の丹野様から目録をいただき、松末病院長からは、入院中の患児が喜ぶたくさんのおもちゃをいただいたことへの感謝の言葉とともに、感謝状をお贈りしました。

寄附をいただきましたアフラック生命保険株式会社様に厚く御礼申し上げます。



### 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

#### 「信頼と満足を追求する『全人的医療』」

滋賀医大病院ニュース第57号

編集・発行：滋賀医科大学広報委員会

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

TEL：077(548)2012(総務企画課)

過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。



### ●理念を実現するための 基本方針

- 患者さんと共に歩む医療を実践します
- 信頼・安心・満足を提供する病院を目指します
- あたたかい心で質の高い医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 先進的で高度な医療を推進します
- グローバルな視点を持ち、人間性豊かで優れた医療人を育成します
- 将来にわたって質の高い医療を提供するため、健全な病院経営を目指します